

チャーチル会・大分 会報

2021年(令和3年)5月号

幹 事 長：成瀬 輝一

〒870-0936 大分市岩田町 1-1-1 Tel : 097-558-4344

e-mail : naruse@iwata.ed.jp

事 務 局：岩下 孝子

〒870-0872 大分市高崎 1-5-8 Tel & Fax : 097-546-7899

会報編集・発行：本田 久親

〒870-0875 大分市青葉台 2-5-20 Tel & Fax : 097-543-4013

e-mail : hondahi@oct-net.ne.jp

コロナ禍でも季節は確実に桜から目に眩しい青葉若葉へ、更には初夏を思わせるような陽気の日々へと移りつつあります。しかし、コロナの猛威は、各地で連日過去最多の感染者数を更新するなど収まるところを知らない状態です。春の絵画展には、これまでとほぼ同数の作品を出品していただくことができ、有難く思っています。5月の会報をお届けします。

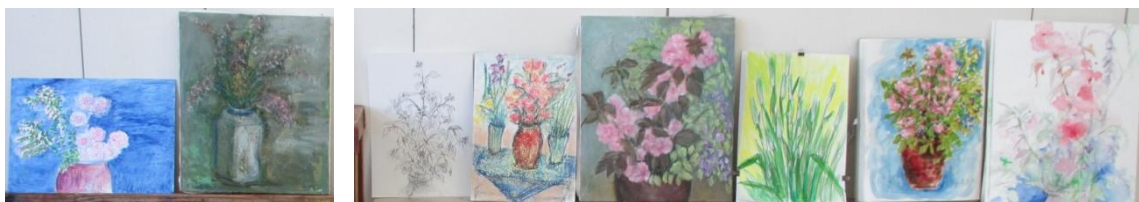
● 4月度月例会報告

【室内写生会】

4月6日(火)、13時～、コトブキヤでの室内写生を行いました。今回もいろんな種類の花々を描きました。

最後に作品を並べて高木先生に恒例の一口講評をしていただきました。

出席は大野、佐藤^{つぎ}、白岩、杉田、中島、野田、橋本、本田の8人と高木先生の計9人でした。



【野外写生会】

4月18日（日）、久しぶりに賀来神社への野外写生に出かけました。この日は風が強く、多少の肌寒さは感じたものの、前日の雨模様から一転の快晴で、絶好のスケッチ日和でした。それぞれ、神社横の堤防の土手や境内などに分散してスケッチをしました。堤防からは眼下に大分川の水面を、遠くには霊山の山並みを望む絵になるポイントでした。昼には皆集まって、それぞれの弁当の食事をとり、その後しばらくして三々五々解散しました。

参加者は、岩下、佐藤つぎ、白岩、曾根崎、中島、成瀬、野田、橋本、本田の9人でした。



● 5月度月例会の予定（当番：岩下、佐藤つぎ）

【室内写生会】

5月4日（火）、13時～、コトブキヤでの室内写生を行います。多数ご参加ください。

【野外写生会】

今月の野外は絵画展開催月のため取り止めます。

● 第122回絵画展について

第122回絵画展は5月17日（月）から23日（日）の1週間、アートプラザで、次の通り開催します。

- ☆ 案内状の配布：案内状（ハガキ）を例会の際などにお渡ししています。例会で配布できなかった方には、本報に同封して郵送します。
- ☆ 搬入日時：5月17日（月）、9時30分
- ☆ 各作品に目録番号の添付：作品番号を記載した目録原稿を本報に同封しています（会報を Rara で受信している方は、2021/04/12 付の佐藤典昭さんの投稿記事に掲載しています）。この目録に記載されている作品番号をハガキ大の用紙に明記し、各作品の前面にセロテープ等で脱落ないように貼り付けて搬入してください（箱入りで搬入する作品には箱の表面にも貼り付けておいてください）。
- ☆ 展示作業：展示作業は業者に委託していますが、会場のテーブルや椅子のセッティング、作品名ラベルやコメントカードの貼り付け等については皆さんのご協力をお願いします。展示順序は目録順に会場の入口壁際から反時計回りに展示します。展示の都合上多少の順序の調整は行います。
- ☆ 客員講評日時：初日（5/17）の午後3時30分から仲築間、高木両先生から全作品の講評を行っていただきます（先月の会報で午後3時からとじていましたが、3時30分からの誤りです）。

ご都合の付く方は是非参加してください。

- ☆ 初日閉館後の懇親会は、今回も3密を避け取り止めます。
- ☆ 会場の受付当番：会場受付当番は会期中の毎日、午前と午後それぞれ2人ずつ必要です。搬入の際に、受付当番の可能な日をお聞きし割り付けします。ご都合の付く方は是非ご協力をお願いします。
- ☆ 搬出時のお願い：最終日（5/23）の午後4時から作品の撤去及び会場の後片付けを行います。会場の後片付けは業者には委託していませんので、全員で後片付けを行います。作品取り外し後の吊り具の回収と員数の確認、ボード、受付テーブル、及び椅子の後片付けについては、ご協力をお願いします。

【編集後記】

4月19日（日）の賀来神社周辺での写生は久しぶりの野外でしたが、好天下での写生でした。神社横を流れる大分川の川面にはいろいろな種類の数羽の水鳥が水遊びをしており、腰を下ろしていた堤防の土手の草むらには黒色に白い斑点のある50cm程の蛇がとぐろを巻いているのを見かけました。室内写生とは違って、3密の心配のない自然に触れながらの気持ちの良い野外スケッチでした。

17日からの絵画展では、皆さんの力作を楽しみにしています。

CC 大分 会報編集事務局 本田久親